

令和4年度 第1回「北九州市教育支援委員会」会議録（要旨）

1. 日 時 令和4年5月13日（金）15時00分～16時00分

2. 形 式 WEBによるオンライン形式

3. 出席者 [北九州市教育支援委員] 明瀬真二委員（副会長） 他15名
（欠席：大平委員、山口委員、向野委員、淵上委員）
[事務局] 特別支援教育相談センター所長 北野里香 他12名

4. 議事次第

- (1) 令和3年度 教育支援委員会の答申に基づく就学相談・通級相談の結果について
- (2) 令和4年度 教育支援委員会事業計画
 - ①各種事業開催日時及び会場（案）
 - ②教育支援委員会分掌及び業務（案）
 - ③就学先決定に伴う手続き（案）
- (3) 情報提供と資料等説明
 - ①令和4年度 就学相談会実施要項
 - ②令和4年度 就学相談会の申込みについて
 - ③就学相談に係る答申とは異なり総合的判断を行って就学措置した児童生徒の状況調査

5. 議事（要旨）

- (1) 令和3年度教育支援委員会の答申に基づく就学相談・通級相談の結果について
（事務局）令和3年度も新型コロナウイルス感染症対応のため、事務局による就学相談会の実施件数が大幅に増えた。申込み数は前年度から100件増加し、年々増加している。就学先の内訳としては、特別支援学級（自閉症・情緒障害）の減少が見られる。
医師による診察を受けた相談者について、書類審査の枠を広げ対応した結果、精神科診察を受けた相談者が前年度に比べ大幅に減少し、医師、保護者、子どもの負担軽減となった。
- （委員）小学校6年生で特別支援学級に在籍していて、中学校から通常の学級に就学した生徒の適応状況について調査していただきたい。

(2) 令和4年度 教育支援委員会事業計画

(事務局) 第2回教育支援委員会は、令和5年2月10日に開催する。本年度は西地区就学相談会(教育センター)を全27回予定している。夏期就学相談会は前年度と同様に事務局で対応する。

就学相談事業の基本方針としては、新小学1年生と新中学1年生を優先して実施する。早い時期の就学先決定と円滑な手続きを目指すために、本年度も関係園や特別支援学級担任等への説明会等を通して、就学相談への理解啓発を行っている。また、ホームページに就学相談の流れと手続きについて、資料をアップしている。

(委員) 医療機関の診断書に関して、療育センターだけではなく、他院の診断書も活用していくということではどうか。療育センターでは診断するのに時間がかかるケースもある。

(委員) 書類審査で就学措置した児童生徒の適応状況についても調査していただきたい。

(委員) 子どもの数は減っているのに、就学相談が増えているというのは、どんな相談が増えているのか。また、就学措置した後のフォローアップが必要になってくるので、強化していただきたい。

(委員) 療育センターの心理は、現在190~200日待ちである。8割は通常の学級に在籍している児童である。

(事務局) 就学措置後の適応状況については、事務局の方で確認していく。

(3) 情報提供と資料等説明

①令和4年度 就学相談会実施要項

②令和4年度 就学相談会の申込みについて

③就学相談に係る答申とは異なり総合的判断を行って就学措置した児童生徒の状況調査

(事務局) 今年度、知的障害特別支援学級が小学校に1校、中学校に2校、自閉症・情緒障害特別支援学級が小学校に2校新設されている。

(事務局) ここ2年間、新型コロナウイルス感染症対応のため、十分な状況調査ができなかった。本年度は感染状況を鑑みて、学校訪問や電話連絡による聞き取り等を通して、状況調査を実施する。